

## 新しい時代と働き方改革

新しい元号が「令和」と発表され、5月より新しい時代を迎えることになりました。天皇陛下の御崩御ではなく譲位による改元であり、国民の一人としてつつい新時代はどのような時代になるのだろうかとの期待感を持ってまいります。



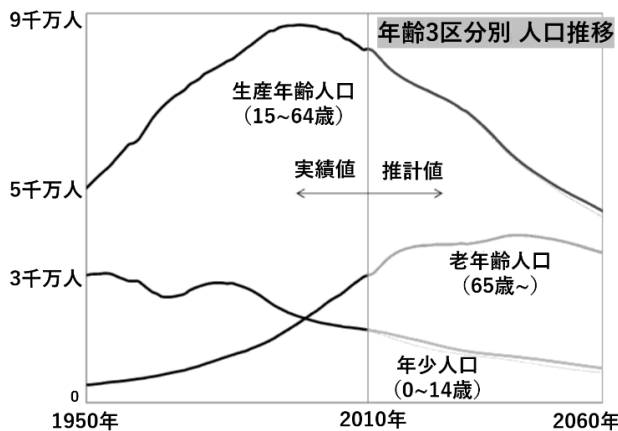
新しい時代の一つの象徴として、4月から働き方改革法案が実施され、すべての職場において働き方改革の実行が迫られています。コンビニエンスストアの24時間営業の制限など人手不足が話題に上がる昨今ですが、そもそも、15歳から64歳の生産年齢人口と呼ばれる人口区分の人数は、1995年がピークであり、減少し続けてすでに20年以上も経過しています。ついに今までどおりの社会システムを支えることが出来ない臨界点に達したと考えられます。



職員確保は、特に地方では、いずれの業種にあっても苦勞されていると思います。公立病院

も同様です。労働力不足を補いながら質の高い医療を提供するには、今まで以上に関係する医療・介護関連施設と密接に連携をとることが必要です。さらに、今後は患者さんや患者さんのご家族にも積極的に医療に参加してもらう必要があります。可能な場合の一例としては、患者さん自身が病歴・薬歴をあらかじめまとめておいて頂くことも上げられます。特に紹介状なしで初めての医療機関を受診される場合など、それまでの状況が全く分かりませんので、一から詳しく聞く必要があるからです。また、転院や在宅看護へ移行する時などに関連施設と協議する際にも積極的に参加していただき、一緒に検討することが納得・満足・信頼などの医療の質向上に必要と考えられます。

変っていく時代に順応するために柔軟な思考・態度でのぞんでいきたいと思ひます。



院長 米澤 文雄

萩市民病院と萩・福祉複合施設かがやきで構成される「萩・健康維新の里」は、市民の誰もがその人らしく、健康に暮らしていけるよう生活を支援するところです。

### 「萩・健康維新の里」理念

- 変化する社会情勢に進取の気性をもって取り組み、新しい健康の在り方を提案します。
- 現状に妥協せず、創意工夫を惜みず、暖かく思いやりのあるサービスを実践します。
- 自らの役割を明確にし、地域と連携して、保健・医療・福祉を統合したサービスを目指します。

### 萩市民病院の目標

- ◇ 私たちは、絶えず自分を磨き、質の高い医療を提供します。
- ◇ 私たちは、提供するサービスを説明した上で、あなたとともに医療を実践します。
- ◇ 私たちは、自分に課せられた仕事を全うし、病院事業を維持・発展させます。

# 他職種連携研修会が開催されました！

1月号で紹介しました「菟園域 地域包括ケアネットワーク協議会」主催による多職種連携研修会が、去る3月9日（土）に開催されました。

初めての取り組みとなる今回は、沖縄県立中部病院の感染症内科・地域ケア科医長の高山義浩先生を講師に迎え、「急性期医療と地域包括ケア」という演題で講演がありました。医師、歯科医師、看護師、理学療法士、介護支援専門員、薬剤師、栄養士、社会福祉士など約150名の参加があり、とても盛会でした。

中部病院は1～3次の救命救急医療を担うとともに、沖縄に19ある離島診療所に勤務する医師を育成する役割も果たしており、その中で、高山先生は感染症診療を行うとともに地域ケア科を立ち上げて、退院患者のフォローアップ訪問や在宅緩和ケアなどを実践されているとのこと。高山先生は、普段実践されていることを例に挙げながら、解りやすく、時にユーモアを交えて話をされ、とても心に残る講演となりました。また、急性期医療を担っている当院として、今後どのようなことに取り組んでいかないといけないのか、考えさせられる講演でもありました。

## 5月12日は看護の日～看護の日のイベントを開催します！～



ナイチンゲールの誕生日である5月12日は「看護の日」に制定されています。当院では看護の日をはさんだ看護週間にイベントを毎年開催しています。今年も5月15日（水）に外来エントランスホールで開催します。「看護の心をみんなの心に」をテーマに、職員の子供たちが描いた絵の展示のほか、午前中は外来ホールで看護師

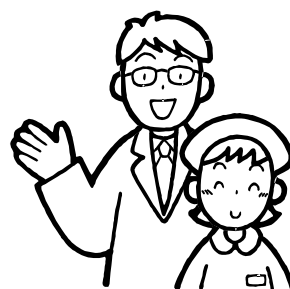
による血圧測定・健康相談などを行います。午後からは毎年好評をいただいています職員によるミニコンサートを開催。来院時の待ち時間や、診察が終わってほっとするお昼の時間に、ぜひともお立ち寄り下さい。



## 常勤医師交代のお知らせ

3月31日付けで、内科・消化器科 中村 宗剛 医師、小児科 小林 光 医師が退職いたしました。

4月1日より、内科・消化器科に松浦 桂司(まつうら けいじ)医師が長門総合病院から、小児科に三宅 晶子(みやけ あきこ)医師が山口県済生会下関総合病院からそれぞれ着任し、引き続き診療を行っています。患者の皆様にはご迷惑をおかけしますが、引き続きよろしく願いいたします。

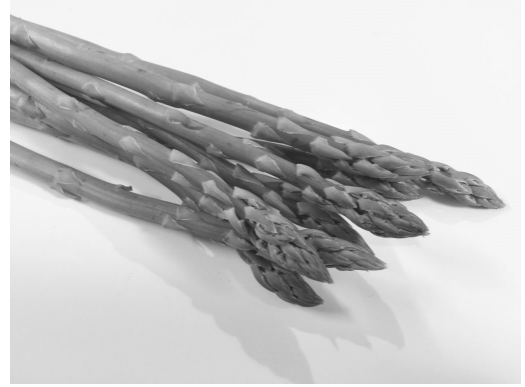


# 栄養科の 地産地消

## 代謝促進・疲労回復 ～アスパラガス～

### 県内産が増加傾向の農作物

アスパラガスは山口県で作付面積が増加傾向にある農作物で、特に県内では下関地域で多く栽培されています。スーパーの地産地消コーナーに地物が並ぶようになってきて、すぐに新鮮なものが手に入りやすくなり、だんだんと価格も安定してきました。アスパラガスは時間が経つと穂先が開いたり、乾燥しやすいなど傷みが早い野菜なので、お店で並んでいるとき水に浸けて売られています。茎に艶があり穂先が締まっている方が新鮮です。保存する場合には、ポリ袋に入れ、冷蔵庫に立てておきます。



### アスパラガスは栄養ドリンクにも

アスパラガスは栄養素として、アミノ酸の一種であるアスパラギン酸を多く含みます。アスパラギン酸は昔から民間療法の薬として使われていたアスパラガスの汁から発見されました。アスパラギン酸はミネラルと結びついて、体の各組織に運ぶ働きがあります。ミネラルはアスパラギン酸の作用により吸収されやすくなり、筋肉運動に必要なエネルギーが順調に作られるようになるため、新陳代謝を促し、タンパク質の合成を高め、疲労回復に効果があると言われています。アスパラギン酸ナトリウムなどは、スタミナ強化をうたったドリンク剤によく配合されています。

## 萩のあれこれ

城下町にある菊屋家住宅は、古くは萩藩の御用商人として活躍した豪商の菊屋家の住宅です。萩で生まれ育った自分には、昔からこの前をちょくちょく通る事はあったのですが、中に入った事はありませんでした。



先日ふとした事で訪れたのですが、門をくぐり建物の中に入ると、まず一番目をひいたのは電話室と書いてある電話ボックス。中には昔の電話が展示してあり、建物の歴史を身近なものから感じる事ができます。室内には江戸期の帳場や台所のほか、菊屋家が収蔵していた美術品が展示されています。また書院からは素晴らしい庭を見る事ができ、訪れた人の目を楽しませてくれます。

本蔵や金蔵も公開されており、とくに金蔵の中にある千両箱を入れておいた場所には、訪れた方がそれにあやかっか、お金を投げ入れて行くそうです。

公開されているのは敷地の半分であり、もう半分にある広大な庭は、期間限定で特別公開されるそうです。次は特別限定の時に訪れてみたいと思います。

事務部 藤村 大輔

萩市民病院 外来診療担当医師一覧

平成31年4月1日現在

受付時間

午前8:30～11:30／午後13:00～16:30

診療時間

午前8:45～12:00／午後13:30～17:00

外来診療は基本的に「予約制」です。  
 なお小児科専門外来は、既に診断がついて他院の紹介状をお持ちの方を除いては、まず午前中の一般外来を受診していただき、必要な検査等を行った上で専門外来へ院内紹介をいたします。  
 いずれの場合も救急・急患はこの限りではありません。

診療科	時間帯	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	
内科	循環器内科 呼吸器内科	午前	米澤 文雄	米澤 文雄	中村 武史	刀禰 尚	米澤 文雄
			中村 武史	刀禰 尚	西村 滋彦	内田 耕資	内田 耕資
			西村 滋彦	内田 耕資		西村 滋彦	中村 武史
	神経内科	午前					佐野 泰照(大学)
	消化器内科	午前	松本 賢治	松本 賢治	松浦 桂司	松本 賢治	松浦 桂司
糖尿病外来	午前/午後			田口 昭彦(大学)			
小児科	一般外来	午前	橋高 節明	橋高 節明(隔週)	橋高 節明	橋高 節明	橋高 節明
			三宅 晶子	三宅 晶子(隔週)	三宅 晶子	三宅 晶子	三宅 晶子
	※専門外来	午後	神経(第1・3・4) 午前・午後(伊住)	アレルギー(第1) (真方)	心臓(第3) (三宅)		
外科 (午後は手術)	午前初診	中村 丘	坂野 尚	中村 丘	坂野 尚	工藤 淳一	
	午前再診			工藤 淳一	中村 丘	坂野 尚	
整形外科 (午後は手術)	午前	茶川 一樹 (再診)	手術のため休診	茶川 一樹 (再診)	茶川 一樹 (再診)	茶川 一樹 (初診)	
		村上 智俊 (初再診)		村上 智俊 (初再診)	村上 智俊 (再診)		
放射線科検査	終日	米城 秀	米城 秀	米城 秀	米城 秀	米城 秀	
麻酔科 (ペインクリニック)	午前		原田 英宜(大学)				
内視鏡検査	午前/午後	厚東 由里佳(大学)	松浦 桂司	松本 賢治	伊藤 駿介(大学)	松本 賢治	

※ 午後からの内科外来は、専門外来のみとなっています。初診の方は電話予約のうえ、午前中の内科外来を受診されますようお願いいたします。なお、救急・急患についてはこの限りではありません。

※ 糖尿病外来、麻酔科、及び大学の内科非常勤医師の診察は院内紹介のみです。  
 初診あるいは他院からの直接の紹介は受け付けておりませんので、予めご了承下さい。

萩市民病院 予約センター 電話(0838)25-1235 ※土・日・祝日を除く月～金 8:30～17:00受付

朝は電話が混み合います。つながりにくい場合は、お手数ですが時間をおいておかけ直し下さい。  
 また、おかけ間違いのないよう十分にご注意願います。

他の医療機関からの受診の際は、紹介状をお持ちいただきますよう、よろしく願います。



さっちゃん通信ぼやきコーナー  
(編集後記)

今回のあれこれで「菊屋家住宅」を取り上げさせていただきました。

私は出身高校が萩高等学校ではないので、通学路というわけではありませんでしたが、昔から菊屋家住宅の前を通るたびに、「大きな家だなあ。」と思っていました。特に菊屋家12代の菊屋嘉十郎氏は、私が小さい頃に萩市長を務めておられた方で、親から「ここは菊屋さんの家」とよく聞かされていました。

さて、今回ちょっと城下町をウロウロしてみようかと思ひ立ち、萩博物館の隅櫓や、長屋門の中にある暮らし

の館という、昭和30年代から40年代頃にかけての日用品が展示されている所を子どもと見学しました。その流れで、「そういえば、菊屋家住宅は有名なのに、全然いった事が無いなあ」という事で、菊屋家住宅を訪れさせていただきました。

菊屋家住宅はさすが萩藩随一の豪商の家とあって、外見と同様、中も立派な作りでした。出口が菊屋横丁に面しており、そのまま菊屋横町を散策していましたが、子どもがアイスを食べたいというので、横丁にある小さなカフェに。久々にたべる夏みかんソフトと、夏みかんジュースに舌鼓を打っていました。

みなさんも、時には城下町や萩の観光地を散策してみたいかがでしょうか。意外と新たな発見があるかも知れません。